



校長 落合浩一

The Legend Never Ends ～伝説は止まらない～

【第 5 回 翠星祭体育部門開催】

6月18日(土)、第5回翠星祭体育部門を本校グラウンドで開催。これまで実行委員会や生徒会本部、各ブロック長を中心に定期試験終了後から本格的に準備を進めてきた。特に、後期集団演技(ダンス発表)やムカデリレー、大縄跳びなどの発表種目や競技種目の練習では、日に日に練習に熱が入り、校内では昼休みや放課後に大きな掛け声が所狭しと響き渡っていた。前々日に予定していた予行演習では、生憎の雨の予報のため、一日前倒しして実施。予行では課題点が浮き彫りとなり、修正点を洗い出す良い機会となったようだ。

各ブロックボードも完成し、いよいよ当日を迎えた。



今年に入り最高気温となる 32 度を超す中、開会式に続き、大玉おくり、障害物リレーと続く。次のムカデリレーでは、各ブロックの練習の成果も出て、「イチ・ニ、イチ・ニ」の掛け声から「アンパン・食パン・メロンパン」といった掛け声まで様々な特徴を見せてくれた。ここま

で熱心に取り組むムカデ競争はこれまで見たことがない。本校の伝統的な競技となっている。



3 学年種目「大縄跳び」では、練習では中々思うように跳べず、試行錯誤を繰り返す生徒たちの顔が曇る場面も見受けられたが、本番では一人ひとりが縄のタイミングをつかみ、全員の息を合わせようとする声や息づかいが本部席まで

平成 28 年 6 月 28 日

伝わってきた。2 学年種目では新種目となる「ボックスリレー」。5 人でムカデを 4 列つくり、カラーコーンをジグザグに進むたすきリレーだ。20 人の息のあった足運びは壮観であった。1 学年種目「いかだ流し」では、両手をついて膝をついた状態になった生徒の背中を速くわたる競技。身軽な 1 年生がトコ・トコと背中を渡っている姿に思わず観客から拍手。午後の最初のプログラムは、後期集団演技から始まった。C ブロック「美女と野獣」、D ブロック「スターウォーズ」、A ブロック「ディズニーキャラクター」、B ブロック「ルパン 3 世」、それぞれのテーマにあわせた色とりどりの衣装と工夫を凝らした演技は観客を魅了する演技であり、練習の成果が十分発揮されていた。



そして、前期生集団演技では、1 年生「フラッグ」、2 年生「集団行動」、3 年生「組み立て体操」と続く。騎馬戦では、男子の勇猛な顔つきが見られた。最後は、体育祭の花形「ブロック対抗リレー」である。1 年生から 6 次生までの代表選手によるリレーに会場からは盛大な声援が送られた。それぞれの種目に結果はついたものの、これまで取り組んできた練習は確実に自分たちの力となっている。本番の成功・失敗はあるが、ブロックやクラスで協力し、団結し、



積極的に取り組んだことを様々な場面で生かしてもらいたい。

当日は、真夏を思わせる天気となり、熱中症も心配されたが、大きな事故や怪我もなく無事終了できたことは、それを支えた教職員の先生方の指導もあってのこと。そして何よりも、体育祭を支えていただいた PTA 役員、そしてボランティアで協力してくれた保護者の皆様、さらに、多くの 1 期生、2 期生の卒業生も応援に駆けつけてくれた。同窓会では、麦茶の準備や提供も行ってくれた。多くの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

後日、青木実行委員長・古川副実行委員長が校長室を訪ねてくれた。委員長からは、「本当に楽しくできた。大きな怪我がなくよかった。」副実行委員長からは「時間もスケジュールどおりにスムーズに進行できた。皆がよく協力してくれた。」そして最後に「PTA の保護者の皆様には、飲料水の準備や片付け、そして同窓会の先輩方には麦茶の準備や提供をしていただき感謝している。自分たちも卒業したら協力していきたい。こうした応援・協力も伝統にしていきたい。」と力強く語ってくれた。

学校行事には、人を成長させる多くの要素が含まれている。自分ひとりではできない行事であり、一人ひとりの姿勢・心構えが問われている。自分たちも満足できる行事、人も応援したくなる行事を目指し、平塚中等の「伝説はとまらない」を発展させて欲しい。